

75歳以上医療費窓口負担2割化撤回を求める請願署名

政府は、2020年12月15日の閣議で、75歳以上の医療費窓口負担について年収200万円以上(単身世帯の場合)の約370万人を1割から2割に引き上げることを決めました。関連法改正案を今通常国会に提出し、2022年度後半に引き上げを実施する構えです。

そもそも社会保障給付は国民の権利であり、高齢者は長年にわたって社会保険料や税金を収めて来ています。「現役世代への給付が少ない」のは、政府の責任です。高齢者給付の増大が、現役への給付が不十分な要因ではありません。世代間対立をあおらないでください。

1割負担でも深刻になっている高齢者の受診控えが、コロナ禍の中の受診抑制と重なり、高齢者の命と健康をどのように守るのが今問われています。このような時に、窓口負担を引き上げるのは、受診控えに追い打ちをかける政策です。

「負担能力に応じたものへと改革していく」というのなら、税や社会保険料での徹底こそが求められます。高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきです。また、国の社会保険財源の確保を消費税と「働き方」改革ではなく、「兵器爆買い」など軍事費等の無駄を省くこと、早期発見、早期治療や薬価の見直し、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです。

よって以下の事項を請願します。

《 請願事項 》

1. 75歳以上の医療費窓口負担2割化の撤回を求めます

氏名	住所

<呼びかけ団体>

中央社会保障推進協議会

東京都台東区入谷 1-9-5-5F 03-5808-5344

全日本年金者組合

東京都豊島区南大塚 1-60-20 03-5978-2751

日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央 5-48-5-504 03-3384-6654

< 取り扱い団体 >